

4. 符と翻数が分かったら点数計算をします

4. 1. 基本的計算法

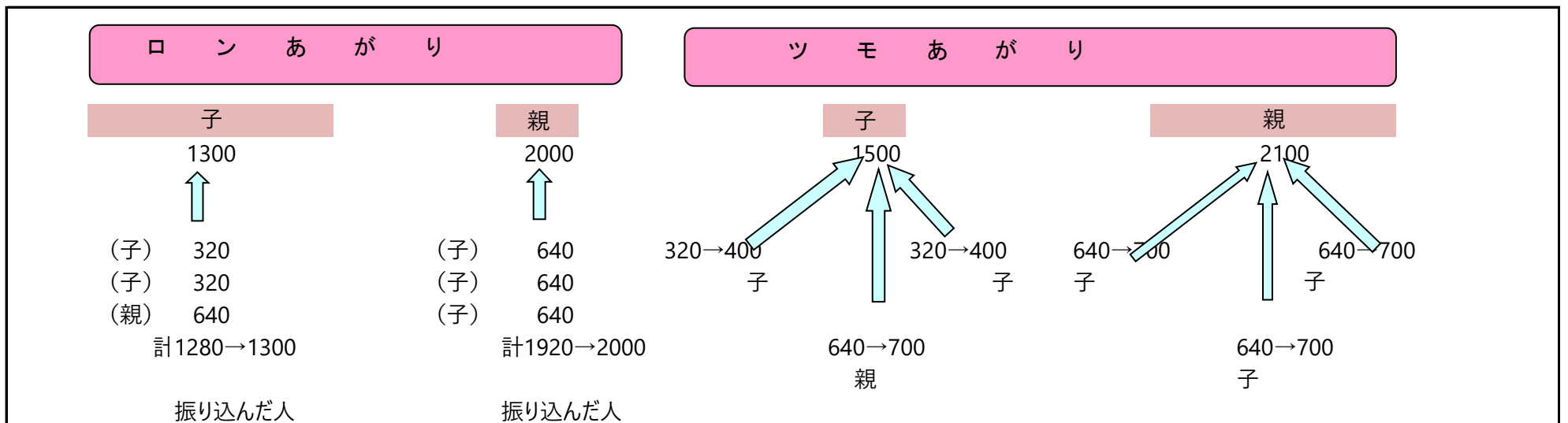
初めに点数計算の仕組みを説明します（この項は読み飛ばして可）

- ・ 上がると、場ゾロと言って、二翻加算されます。したがって一翻で上がっても三翻になります
（この二翻分のことを、バンバン、とか ドンドン とか言っています）

40符 1 翻の例で説明すると、40 をもとに倍、倍、...していきます。

符	1 翻	2 翻(バン)	3 翻(バン)
基本法 40	$\times 2 = 80$	$\rightarrow \times 2 = 160$	$\rightarrow \times 2 = 320$
			$\rightarrow \times 2 = 640$
			$\rightarrow \times 2 = 1280$
		子の基準値	親の基準値

- ・ この3 翻目の **320** が子の基準点で子の支払額（または子からの受取額）となり、その倍の **640** が親の基準点で親の支払額、（または子からの受取額）となります。
- ・ 子がツモ上がったときは、二人の子から 320 切り上げて $400 \times 2 = 800$ 親から 640 切り上げて 700 計 1500 を受け取るようになります
- ・ ロンアガリのときは、二人の子の分として $320 \times 2 = 640$ 親の分として 640 合計 1280 切り上げて 1300 を振り込んだ人からもらうことになります
- ・ 親がツモ上がったときは、三人の子から 640 切り上げて $700 \times 3 = 2100$ を受け取るようになります。
- ・ ロンアガリのときは、三人の子の分として $640 \times 3 = 1920$ 切り上げて 2000 を振り込んだ人から受け取るようになります。
（点数早見表はこの面倒な計算をしなくても済むように、この基準点をもとに作られています）



4.2. 点数計算別法1 (8倍法)

基本の計算方法では、場につく2翻をバンバンと計算していかななくてはなりませんが、
符を8倍することにより、いきなり点数を計算することができます

(上例でいうと、8倍でいきなり子の基準値 320 を得ることができます)

符	1 翻
40	$\times 8 = 320$
	$\rightarrow \times 2 = 640$